

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・地域へ積極的に出かけていき、買い物理美容は地域の店舗を利用している。 ・行事では町内会との交流も行っている。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・ホームの見やすい玄関に掲げている。 ・利用者同士、スタッフも本音で関わりあえる(ぶつかりあえる)事で日々の取り組みを行っている。 ・会議で理念の確認、具体内容の検討をしている。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族会や地域を巻き込んだ一周年記念行事や季節を取り込んだ行事(流しそうめん・花火大会・秋祭り)を行っている。	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・外出時や通勤時の挨拶をしている。 ・町内会の回覧板や地域の掲示板にホームのお知らせを載せてもらっているそれによって地域の人達から沢山の戴き物がある(芋・食器・布団・人形等)。	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域(町内会・子ども会)との共催している行事がある。 ・地域のミニディサービスに参加している。	○ ・今後も定期的に共催行事を行う事になっている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・地域の要望により勉強会(介護予防・介護保険・認知症)を当ホームで行う事になっている。	○	・地域の要望により勉強会(介護予防・介護保険・認知症)を当ホームで行う事になっている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・スタッフ全員で評価の意義、必要性を学び、自己評価を行った。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・約二ヶ月毎に運営推進会議を行ってきた中から『GHを拠点として地域に向けた勉強会を開いて欲しい』という要望があり実施する事となった。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・生保担当者と必要に応じて連絡を取り合っている。・事故があった時は直ちに報告している。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・研修、勉強会を開き全スタッフが学んでいく。	○	・研修、勉強会を開き全スタッフが学んでいく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・利用者への対応で問題があればすぐスタッフ全員で話し合い改善策を探し実践している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約内容の伝達を確実に行情報の共有がなされている。 ・家族の話を十分に聞いた上での契約を行っている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・介護相談員を設置することにより、利用者が外部へ意見を言える機会がある。 ・苦情箱を設置している。 ・苦情担当者がいる。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・毎月写真を添えて暮らしぶりを伝える一言通信を送っている。 ・面会時には近況を報告している。 ・健康状態に変化があった時にはその都度報告をしている。 ・金銭の用途を明確にし定期的に報告している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・家族会を開いている。その中で出た意見や要望を取り入れている。 ・面会時や電話での意見要望は記録に残しすぐさま対応へと繋げている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・月1回フロア会議の中で意見を出す機会がある。 ・出た意見を下に改善している。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・夕方の不穏が起りやすい時間には人手を厚くしている。 ・緊急時には近隣スタッフの協力がある。 ・個別ケアを行いやすいように人員配置がなされている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・1、2階への職員異動はあっても常日頃の交流で利用者へのダメージは少ない。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・必要に応じた研修を定期的に行い全スタッフが参加している。・外部への研修に参加した後、ホームでの伝達研修も行っている。・内外研修の案内が目につくところに掲示されている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・同業者が見学に来る機会が多い。</p>	<p>○</p> <p>・川崎市GH連絡協議会を同業者と立ち上げる計画がある。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・思ったことを話せる雰囲気になっている。・会議の場でも自由に発言ができる。・個別の面談により職員の話を知っている。・息抜きのある場がある(喫煙所・休憩室)。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・定期的な個別面談で目標(短期・長期)を設置している。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・様子が違う時等無理に集団の中に居させる事はなく、個別で話を聞く機会を作っている。・常に傾聴。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・利用者のニーズとは別に家族としての不安や求めている事を聞き出し、その後全体での検討を行っている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・家族希望による理美容やセラピーの利用を行っている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・利用者同士の仲間意識、仲良し度を図りながらサービスをしている。・その時必要としているものは何かをカンファで話し合い、試しのサービスを行ってから繋げている(ミニデイサービス・温泉・男の会)。・家族からの情報収集も行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・理念に掲げ皆が行動している。・それぞれの得意な役割のもと助け合い、支え合い、感謝しあい共に生活をしている。・耳を傾け、共感し合っている。		
28	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・家族の意向を聞いたり事情に耳を傾けている。・必要に応じて家族との話し合いを持っている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族会やホームの行事、面会に来られた時には、利用者と家族の接する機会を増やしている。・疎遠な家族へはホームでの暮らしぶりを伝え、協力体制を求めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・家族からの電話で話す機会がある。・地元の人には外出する機会を増やし、本人の社会をホーム内に留めず馴染みの場へと出ていく。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・それぞれの得意分野で助け合うことで支えあっており、関わりを持てる機会を作っている。・一緒に外出、入浴する事でも関わりがある。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・他の施設を探す時の情報提供をしている。・介護サマリーを提出している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・表現できる人には心を寄せて聞き取り、表現が困難な利用者においては表情や反応を見ながら、把握に努めている。	○	・本人同席のカンファを行いケアプラン作成に繋げる。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・本人や家族とコミュニケーションを多く取る事により、生活歴を把握できている。・馴染みの物を設置してもらっている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・見守り、様子観察からその時々状況を記録している。・記録を伝達し、情報を共有している。・どのような事でもまずやって頂き観察し、その変化を見極めるようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・本人の望む生活は何か(課題は何か)を考えカンファを行っている。・本人家族からの聞き取りの下、その時々で必要なサービスは何かをカンファで話し合っている。・お試しの期間を経て計画作成を行う。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・課題に対し期間を決めて見直しを行っている。・変化があった時にはすぐに見直しをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・ケアプランに沿ったケアを実施し、利用者の言葉、表情等を記録している。・連絡ノートに記入したり、申し送りやカンファで情報交換し共有を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・本人や家族の要望に応じて外出外食を行っている。・家族が希望される理美容の連れ出しを行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・ボランティアの訪問がある。・外出時公園等の施設を利用している。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・地域サロンへの参加。・地域のケアマネジャーとのネットワークがあり、他のサービスに繋げている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・運営居推進会議の中で協働している。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・家族了承の下、かかりつけ医があり利用者にも顔なじみになっている。・事前に利用者の体調や訴えを把握し往診時に、ドクターへと伝えている。・家族希望の受診もある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	<p>・今後定期的な訪問が開始される。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>・サマリー等情報提供している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・本人が傷つくような軽はずみな言動は避け、先輩であるという事を忘れずに対応している。・記録は個人名で書かないようにしている。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・本人から、思い、意見を話せるように耳を傾け、自主性を引き出すような接し方をしている。・表情や仕草等を観察しながら、本人の話をよく聞くようにしている。その中から自己決定の場を増やしている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・押し付けず本人が何をしたいのか、何が楽しいのか、どんな風に過ごしたいのか利用者の希望を聞いている。・就寝時間も特に決めず好きな様に過ごして頂いている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・今まで使ってきた化粧品(クリーム等)を置くことでいつまでもおしゃれをして頂いている。・理美容は家族や本人の希望を取り入れている。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	・自ら進んで楽しみながらできるような声かけや食べたい意欲の湧く掛け声をしている。・朝食作り、夕食作りの機会があり共に作る事で楽しんでいる。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのお酒、飲み物、おやつ、たばこ等を一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・本人が好きなジュースやおやつを買出しを一緒に行っている。・イベント時、お酒を出すこともある。・飲み物は自分で選んで頂いている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・無理にトイレに連れて行くのではなく、本人の意思によって行っている。またさりげない誘導を行っている。・おむつ使用者は排泄パターンを把握し排泄の自立に向けている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・気の変わりやすい人には入りたいという言葉が出たらすぐに対応している。・拒みが多い人へは利用者同士の声かけで楽しいものへとしている。・他の人と一緒に入ること裸の付き合いを楽しんでいる。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・就寝前の落ち着いた雰囲気作りに気をつけている。・無理に寝かせず、その方々のタイミングで休んで頂いている。・日中の活動を活発にし良眠に繋げている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・能力に合わせた日常家事にて、役立っている、という喜びを持って頂いている。・個別ケアを行うことで他に気を遣うことなく本人のしたいことをする支援を行っている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・個人の財布を所持している人もいる。またそのお金で好きなものを買っている。・買い物時見守りの中で各自精算している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・買い物や外出は積極的に行っている。・外出願望や不穏者に対しても散歩を行っている(車椅子を使うこともある)。・買い物外出の希望ある時は一人ひとりに合わせた支援をしている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・バスハイク(利用者から希望を聞き行事に繋げている)。・個別ケアで本人の望む外出を行っている(温泉・外食)。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・年末には年賀状を本人から家族宛に出している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・面会時間を設けることなく好きなだけ居て頂く。また気兼ねなくお部屋で過ごして頂いている。・開かれたホームの雰囲気を目指し、その意識を持つようになっている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束ゼロ推進を掲げ、意識向上を図っている。・会議で話し合っている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・居室、窓に鍵はかけておらず自由に出入りをし花の水遣り、息抜きができるようになっている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・一日を通して利用者の所在を意識して把握する努力をしている。・利用者を見守りやすい位置に居たり、職員同士の声かけで常に利用者の所在を確認している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・はじめから物をなくすのではなく、様子観察し、話し合いをした上で危険、不衛生と判断された場合のみホーム保管している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・転倒、誤薬、行方不明等あればすぐに事故報告書の記入の上、会議を開き状況に応じた防止策の検討をし実行している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・緊急時ダイヤルの掲示をしてある。・緊急時、事故発生時のマニュアルがある。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・消防、避難訓練を行っている。・職員だけでなく利用者も消火器使用の練習を行っている。・災害時の避難について地域の人と話をしている。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・家族来訪時や電話連絡にてその時々々の状態、変化を報告し、対応策を話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・バイタルチェックだけでなく、顔色や様子観察を怠らず異変があればその場で、職員で話し合い方針を決める。必要があればかかりつけ医へ報告し指示を仰ぐ。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・薬の変更があったときには、連絡ノートに記入し。ドクターからの指示書を必ず掲示し皆が理解に努めている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・便秘予防の為に体を動かすように促したり、水分や乳酸菌を積極的に摂るようにしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後の歯磨きへの声かけをし、清潔保持をしている。・うまくできない人へはさりげない支援を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・水分や食事量は記録用紙でチェックをしている。・食事、水分補給時には職員も席に着きバランスよく摂れるよう声がけしている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・マニュアルがあり職員が見やすい場所にある。・勉強会も行われている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・毎週定期的に冷蔵庫の掃除を行い、在庫の整理や備品の衛生チェックを行っている。・毎食毎の布巾の消毒。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・花を沢山置き親しみやすくしてあり玄関の外と中にベンチを置くことで利用者だけでなく近隣の人も安全な出入りになっている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・写真や掲示物はさりげなく季節感を出しつつ子どもっぽくならないようなものになっている。・花を飾ったり個々ののれん、ぬいぐるみなど家庭的なものを取り入れている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・テーブルや椅子を密集させず、またカーペットをひいてひとつの空間を作ったり、窓の外へ出て一人になれる環境になっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ぬいぐるみ、お仏壇、箆笥等馴染みのある物を置いている。 ・レク等で作ったものや花などを本人の意思で自室に飾っている。 ・畳、ゴザを引くことで過ごしやすい部屋になっている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・毎日居室の窓を開け換気を行っている。 ・温度調節を図ると共に風が直接当たらないよう利用者の座る位置にも気を配っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・身体的なことだけでなく、環境が障害になっていないかを検討しその時々状況にあわせ、家具等の移動、設置を行っている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・トイレや居室の目印を、必要な人の目線に合わせて貼っている。 ・各居室ののれんを工夫し、自分の部屋が分かるようにしている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・ベランダ、玄関には花、プランターを置き楽しみながら活動している。	○	利用者がベランダをより楽しめる空間とする為の環境作りを行う(7月中旬開始予定)。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
	<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/>	③たまにある
	<input type="radio"/>	④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者のあるがままを受け止めつつ、利用者のやりたい事、できる事を見出し支援している。地域との交流を大切に一緒に行事を行ったり、外出を積極的に行っている。こういった活動的なケアをすることにより心身状態を良好に保っていると考えられる。今後も活動的なホームを目指していく。